

特別の教育課程の編成等の方針について

糸満市立高嶺中学校

1. 新設教科の名称

海人（うみんちゅ）科

2. 新設教科の目標及び内容

総合的な学習の時間と特別活動から10時間程度削減して「海人（うみんちゅ）科」を新設する。『海と人とが共生できる未来を考えよう』をテーマに、各学年の総合的な学習の時間のテーマや探求課題との関連を図って糸満の海に関する学習を展開する。また、各教科との横断的な関連を図り、生徒の深い学びにつなげる。

糸満の海に関する興味関心を高め、海洋に関する諸課題について多面的・多角的に捉えて、調査・探究することを通して、課題を解決していこうとする態度を育てていきたい。

3. 内容を削減した教科等で削減した内容の補完について

削減した教科内容との関連を意識した取り組みを「海人科」で実施する。

総合的な学習の時間では探求的な学習において地域資源や副読本『糸満の海』を活用し、系統的に実施する。また、学級活動では社会の一員としての在り方や将来の生き方を意識して実施する。

4. 地域や学校の特色を活かして行う教育について

糸満は昔から「海人のまち」として知られています。昔から漁業が盛んにおこなわれ、沖縄周辺の日本近海や東シナ海、さらに、東南アジアや南洋諸島などのエリアにも糸満海人の勢力は広がっていました。このような海人の歴史は、伝統文化や伝統行事、海に関する産業や食文化に脈々と引き継がれています。

総合的な学習の時間や各教科の関連する単元に替えて「海人科」を新設し、体験活動及び課題解決的な学習を通して、地域を見つめ、環境保全に関わろうとする態度を育て、海を活かしたまちづくりについて探求する生徒の育成を図っていきたい。

また、各学年、「地域」「環境」「持続可能」をキーワードにして課題に向き合い、主体的・対話的で深い学びを展開することで、様々な課題に立ち向かう生徒の資質・能力の育成を目指したい。